

接続のしかた

ケーブルすべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。

	種類	最大距離
10BASE-T	UTPケーブル カテゴリ-3以上	100m
100BASE-TX	UTPケーブル カテゴリ-5	100m

起動と停止
電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

通信速度 / 通信モードの設定
接続先の機器の通信モードは、次の表の 印の組み合わせになるように設定してください。
IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

		自ポート CentreCOM FS705 オートネゴシエーション
接続先 ポート	10M Half 固定	
	10M Full 固定	
	100M Half 固定	
	100M Full 固定	
オートネゴシエーション		

接続手順
1. 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。

3. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

4. 本体前面のPWR LED(緑)が点灯することを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLNK/ACT LED(緑)が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

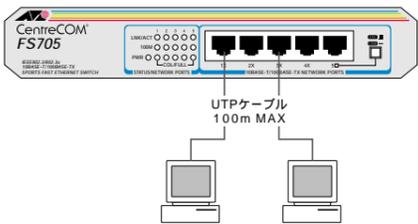


図3 スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポート(ポート5)を使用すると、クロスケーブルを使用することなく簡単にカスケード接続することができます。

また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

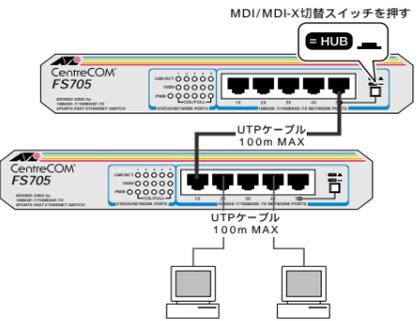


図4 カスケード接続の例

- MDI/MDI-X切替スイッチを「= HUB(スイッチが押し込まれた状態)」に設定します。
- 本体前面のカスケードポート(ポート5)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
- UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

1 PWR LEDは点灯していますか?

PWR LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

2 LNK/ACT LEDは点灯していますか?

LNK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。

本製品のMDI/MDI-X切替スイッチを確認してください。カスケードポート(ポート5)を使用して、リピーターやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のMDI/MDI-X切替スイッチを「= HUB(スイッチが押し込まれた状態)」に設定してください。本製品のポート5同士をカスケード接続する場合は、一方を「= HUB」に、もう一方を「X PX(スイッチが飛び出している状態)」に設定します。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

接続先の機器の通信モードを確認してください。本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

リピーター(=ハブ)の数が制限を越えてないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット10Mbpsの場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3/IEEE 802.3u
転送モード	
	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90~255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.3A
平均消費電力	4.5W(最大5.0W)
平均発熱量	3.9kcal/h(最大4.3kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20~60
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0~40
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
	210(W) X 117(D) X 38(H)mm
重量	
	725g
アドレスエントリー数	
	1,000個
アドレス保持時間	
	360秒
バケットメモリ容量	
	1MByte
適用規格	
安全規格	UL1950
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、裏の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター	
Tel:	☎0120-860-772
月~金(祝・祭日を除く)	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00
土(祝・祭日を除く)	10:00 ~ 17:00
Fax:	☎0120-860-662
年中無休	24時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ご使用のハードウェア機種について
製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。



お問い合わせ内容について
どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成図について
ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物は入れない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一滴水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100~240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超える発熱による火災の原因となります。

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意:

- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所

おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年12月 Rev.A 初版

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をぬらす
中性洗剤使用
堅く絞る
性(ぬす)みこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

異物厳禁

傷つけない

3ピンコンセント

たこ足禁止

油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類禁止